

林業ミニ情報 No.144

平成29年11月

- 1 「きのこ原木の安全管理等に係る現地視察」を実施……………1
(常陸太田林業指導所 綿引)

- 2 「森と地域の調和を考える会」美和の薪販売会が開催される……………3
(大子林業指導所 小川原)

- 3 ヒノキ間伐材を使用した新たな取組「飾り棚づくり」を実施……………4
(笠間林業指導所 菊池)


- 4 「森林施業プランナー等意見交換会」を開催……………6
(筑西林業指導所 藤田)

<p>タイトル</p>	<p>「きのこ原木の安全管理等に係る現地視察」を実施</p>
<p>年月日</p>	<p>平成 29 年 11 月 1 日 (水)</p>
<p>場所</p>	<p>南会津広葉樹利用生産組合 (福島県南会津町関本字神屋沢) 外</p>
<p>内容</p>	<p>県では林業普及指導事業における重点推進課題の一つとして、「原木シイタケ生産の再生」をテーマに、各林業指導所が連携し、安全な原木シイタケの生産・流通に向けた活動を展開しています。</p> <p>現在、本県の原木シイタケ栽培用の原木は、主に県外産が使用されていますが、全国的に不足傾向にあること、また、利用されなくなった県内広葉樹林の荒廃が懸念されることなどから、県内産原木の利用の可能性について調査・検討を行う必要があると考え、非破壊検査機により原木の全量検査を行っている福島県の安全管理の取組等について視察研修を行いました。</p> <p>当日は、各林業指導所、林業技術センターなどから計 11 名が参加し、はじめに福島県南会津農林事務所の職員から、福島県における原木の安全管理体制について説明を受けた後、南会津広葉樹利用生産協同組合に移動し、実際に検査機が稼働している状況等を視察しました。</p> <p>福島県では、非破壊検査機による全量検査を実施することにより安全性を確保しており、検査に合格した原木は、本県を含めた県外へも販売されているとのことでした。</p> <p>安全な原木シイタケを栽培するためには、汚染度の低い原木をいかに調達するかが最大の課題となっています。我々としても、今回の視察の結果等を踏まえ、この課題の解決に向け引き続き活動をしていきたいと考えています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>福島県担当者との意見交換</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>非破壊検査機の稼働状況</p> </div> </div>

普及成果

南会津地域は福島県内でも放射性セシウム沈着量が低いとされる地域であり、茨城県でも同様の地域であれば、指標値以下の原木を調達することが可能と考えられます。

このため、県北部を中心に調査を行い、原木として使用可能な広葉樹林の所在を把握していく考えです。

タイトル	「森と地域の調和を考える会」美和の薪販売会が開催される
年月日	平成 29 年 11 月 18 日 (土)
場所	常陸大宮市鷺子「道の駅みわ北斗星」
内容	<p>森と地域の調和を考える会は、平成 24 年に設立され、木の駅プロジェクト美和や城郭跡地の整備など、普段から地域に密着した活動に取り組んでいます。</p> <p>今回は、薪販売会に併せ、森林に対する関心を深めてもらうために、お箸作り体験を実施しました。</p> <p>当日は、残念ながら天候にも恵まれず寒い日だったことから、予想より訪れた方が少なかったですが、家族連れなどを中心に約 100 名の方に体験してもらうことができました。</p> <p>カンナを初めて使用される方も多く、初めはぎこちない手つきでしたが、指導の甲斐あって、体験された方はきれいに完成することができました。また、ヒノキのカンナクズだったため、良い香りがすると特に女性から好評で積極的に持ち帰っていたのが印象的でした。</p> <p>薪の販売については、普段よりも安価で購入できることもあり、準備していた薪が足らなくなり、追加で持ってくるなど予想を上回る販売量になったということでした。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>箸づくり体験の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>薪販売の様子</p> </div> </div>
普及成果	<p>参加者からは、「疲れたけど自分の箸ができてうれしい」「とても良い体験ができた」「自分の箸として大切に使う」「また機会があれば体験したい」などと好評の意見が多く聞かれました。</p> <p>当林業指導所では、今後も地域に密着したイベントに継続して参加し、県民の方々へ森林・林業の役割に対する理解促進を図っていきたくと考えています。</p>

タイトル	ヒノキ間伐材を使用した新たな取組「飾り棚づくり」を実施
年月日	平成 29 年 10 月 19 日 (木)
場所	笠間市立岩間第三小学校
内容	<p>県では、森林湖沼環境税を活用した事業の一環として、県内小中学生を対象に緑や森づくりの大切さを理解し興味を持ってもらえることを目的とした「森林・林業体験学習」の出前講座を実施しています。</p> <p>これまでの木工工作体験では、お箸づくりを主に実施してきましたが、笠間林業指導所では新たな取組として、「飾り棚」を考案し、趣旨に賛同いただいた笠間地区林産協同組合（理事長 銚田樹一氏）から、子供たちに木材に触れてほしいという想いを託したプレーナー仕上げされたヒノキ板の提供を受け、林業指導所がキット化しました。</p> <p>今回初の試みとして、そのキットを使い、笠間市立岩間第三小学校の4年生 46 人の児童たちが製作しましたので、その取組を紹介します。</p> <p>最初に、林業普及指導員から座学として、森林は住宅や家具などに使用される木材を生産するほか、水を貯え洪水を防ぐことや土砂崩れを防止すること、また二酸化炭素を吸収することにより地球温暖化を防ぐ働きがあることなどの講義をしました。</p> <p>その後、ヒノキ間伐材を使用した「飾り棚づくり」体験として、林業普及指導員が作り方の説明の後、1人に1セットずつ配布したキットを使い2人で協力して作業しました。はじめは慣れない手つきで金槌を持ち、指定された位置に釘を真っ直ぐに打つことが難しかったものの徐々に慣れ、悪戦苦闘しながらも仕上げることができました。</p>



森林の働きの講義



飾り棚製作の様子



飾り棚製作の様子



完成した飾り棚と「キット」


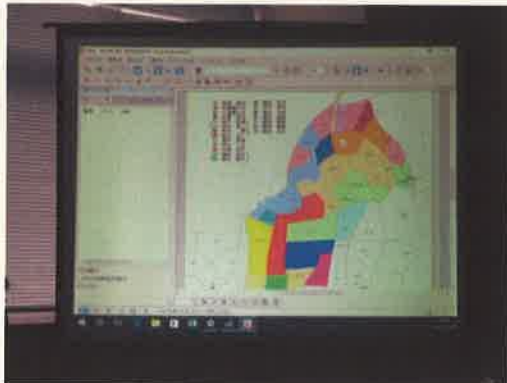
普及成果

完成した「飾り棚」を見て児童からは、達成感いっぱいの歓声があがり、みんな大はしゃぎでした。

また、児童たちは、作業しながらヒノキ材の香りに魅せられたようで、何度も何度もヒノキ材を鼻の近くに寄せ香りを楽しんでいました。

今回の「飾り棚づくり」体験を通して、森林の働きや大切さ、長い年月を掛けて木材が生産されることなどの話を聞き、これから私たちは、木を大切にし、そして森林を守っていかねばならないと思った、といった感想も聞くことができました。

当林業指導所では、今後も森林・林業体験学習などを通して、次代を担う児童・生徒たちに、様々な働きを持つ森林を守り、育てていくこと、地球温暖化防止についての理解を深めてもらえる取組を続けていきたいと思えます。

<p>タイトル</p>	<p>「森林施業プランナー等意見交換会」を開催</p>
<p>年月日</p>	<p>平成 29 年 10 月 19 日 (木)</p>
<p>場所</p>	<p>常陸太田合同庁舎 2階 打合せ室</p>
<p>内容</p>	<p>林業普及指導員が取り組んでいる重点推進課題のうち、「低コスト作業システムの普及」を課題として活動しているチーム間伐では、取組の一つとして、「森林施業プランナー等意見交換会」を開催しました。</p> <p>低コスト作業システムを普及する上では、集約化による施業地の取りまとめが第一歩となります。その重要な役割を担うのが、森林組合等の各林業事業体に所属し森林経営計画の作成等を行う森林施業プランナーです。</p> <p>今回は、県内各地域で活動している森林施業プランナー間で、これまでの取組を通してノウハウの共有化を図るため苦労話や成功談などを話し合える場として意見交換会を開催しました。</p> <p>当日は、森林施業プランナー等 5 名、林業技術センター専門技術指導員 2 名、チーム員 5 名の計 12 名が参加し、集約化の取組事例の紹介や図面の作成方法などの技術的な内容まで幅広く意見交換を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="395 1137 906 1518">  </div> <div data-bbox="928 1137 1442 1518">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div data-bbox="571 1541 774 1574"> <p>意見交換の様子</p> </div> <div data-bbox="1098 1541 1305 1574"> <p>集約化取組事例</p> </div> </div>
<p>普及成果</p>	<p>各地域で個別に活動している森林施業プランナー同士のつながりを作ることができました。</p> <p>また、地元協力員の必要性や森林 GIS の効果的な活用法など幅広い分野での情報共有ができました。特に、これから本格的に集約化に取り組む地域の森林施業プランナーにとっては、県内の先進事例からノウハウを学ぶことができ良い機会となりました。</p> <p>今後は、今回共有したノウハウを各地域に合った形で取り入れるため、民間事業体を含めた地元プランナーへの個別指導を強化し、計画的な間伐の推進につながるよう努めてまいります。</p>